

令和元年度 科目名 (地学基礎)

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次以上（選択必修） 3単位

教科書：改訂 地学基礎（東京書籍） 学習書：改訂 地学基礎（NHK 出版）

2 科目の目標

自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

3 評価規準（何を評価するか）

宇宙が始まり、宇宙の急激な膨張を経て、恒星や銀河が生まれ、現在の姿となったことを理解している。

生命が存在する地球環境について理解している。

地層の構造や化石による環境推定について理解している。

地球表層環境と生命は互いに影響しあいながら変遷・進化したことを理解している。

地球の内部構造、プレート運動と地震のしくみについて理解している。

火山活動と火成岩の特徴を理解している。

大気構造を理解している。海水の運動について理解している。

日本の自然環境の特徴を理解し、その恩恵と地学現象による災害を関連づけて理解している。

地球システムで起こるフィードバックのしくみを理解し、地球環境的視点から世界の取り組みを理解している。

4 評価基準（どんな方法で評価するか）

レポート目標の基本的な部分のみ理解されている場合は、理解度に応じて評価2～3、標準的な部分まで理解できている場合は評価3～4、発展的な部分まで理解できていると判断される場合は評価4～5とする。基本的な部分が理解できていない場合は再提出とする。なお、標準的・発展的な部分でさらに理解を深め、再提出した場合は評価を上げる場合もある。

5 試験範囲と試験による評価基準

R 1～R 3の範囲で7月試験を、R 4～R 6の範囲で10月試験をR 7～R 9の範囲で1月試験を実施する。再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は単位認定しない。

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングに取り組む姿勢を考慮し、学年末評価の参考資料とする。

スクーリングはレポートの内容でつまずきの多い箇所の説明、および生徒の質問に個別に対応することを基本とする。

シラバス（学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準）

R	項目	内容	教科書	時期
1	1編 私たちの宇宙の進化 1章 宇宙の構造と進化	ビッグバンと宇宙の誕生 天体の誕生 太陽の進化とその最後 銀河の集団	4～19 33～34	5月上旬
2	1編 私たちの宇宙の進化 2章 太陽と惑星	太陽系の誕生 地球型惑星と木星型惑星 太陽 太陽系の果て	20～43	5月下旬
3	2編 私たちの地球の変遷と生物の進化 1章 地層や岩石の観察	地層の形成 地質構造 層序関係 地層と古環境	44～59 78～83	6月中旬
4	2編 私たちの地球の変遷と生物の進化 2章 生命の変遷	先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代	60～85 78～79 84～85	7月中旬
5	3編 私たちの地球 1章 大地とその動き 2章 地震	地球のかたち 地球の構造 地震のメカニズム 地震とプレート	86～109 120～125	8月中旬
6	3編 私たちの地球 3章 火山	火山 火成岩 火山とプレート活動	110～127 120～121 126～127	9月中旬
7	4編 私たちの空と海・地球のこれから 1章 大気と海洋	大気 大気の循環と熱輸送 海水とその運動 大気と海洋の相互関係	128～145 182、 184 186～187	10月中旬
8	4編 私たちの空と海・地球のこれから 2章 日本の自然の恵みと防災	日本の自然環境と火山の恵み 日本の海の恵みと水資源 地震による災害と防災 日本の四季の天気と気象災害	146～165 182 184	11月中旬
9	4編 私たちの空と海・地球のこれから 1章 地球環境の考え方 2章 自然環境の変動 3章 これからの地球環境	地球環境 自然環境の変化 これからの地球環境に対する世界の取り組み	166～191 183～191	12月上旬